

水痘(みずぼうそう)が流行中です！

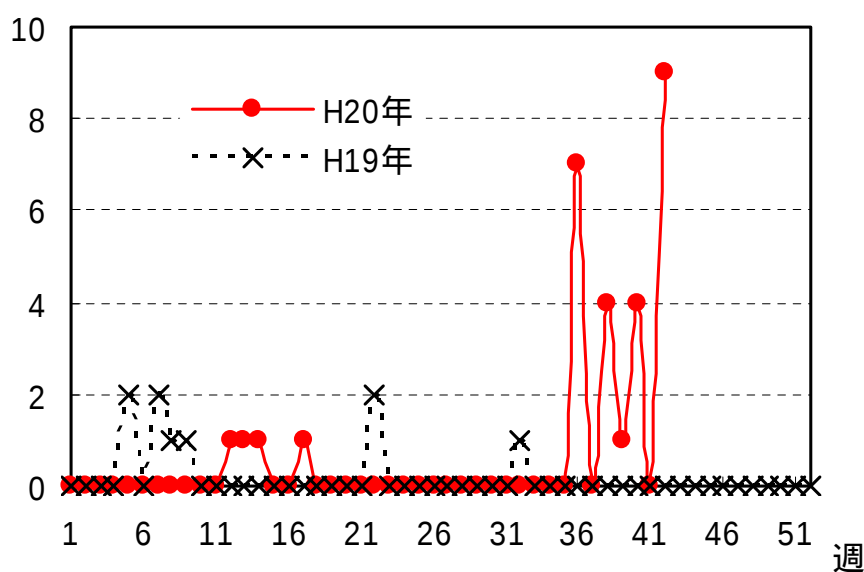
現在、大島で水痘の患者が継続して認められています(参照：グラフ1)。患者は、0歳から6歳の乳幼児です。

家庭および保育園において以下の点に注意して生活してください。

- お子さんに発熱、発疹など水痘が疑われる症状が出ていないか観察しましょう。症状が疑われる場合は医療機関を受診しましょう。
- お子さんの母子手帳を確認し、過去に水痘に罹ってなく、水痘の予防接種もしていない場合、水痘の予防接種を考慮しましょう。
- 症状改善後も体力が回復するまでは外出を控えましょう。

グラフ1：大島 水痘 報告週別届出症例数

件



水痘(みずぼうそう) Q & A

Q 1 . 水痘とはこういった病気ですか？

A 1 . 発熱、痒みを伴う発疹、だるさが見られる病気です。発疹は当初赤みを帯びており、その後水疱状となり、最後かさぶた状になります。症状は2～3日間程度持続します。主に小児がかかります。

Q 2 . 水痘はどうして起きますか？

A 2 . 水痘帯状疱疹ウイルスといったウイルスに感染することで水痘にかかります。患者の咳や唾を吸い込んだり、患者の発疹に触ったりすることで感染します。ウイルスに感染後10～21日で症状が出現します。

Q 3 . 水痘の治療はどのように行いますか？

A 3 . 軟膏など患者の症状に合わせた治療となります。発症して間もない場合や重症の場合などには抗ウイルス剤が使用されます。

Q 4 . 水痘はどのように予防すれば良いですか？

A 4 . 予防法は患者との接触を避けること、水痘ワクチンを接種することです。過去に水痘に罹ってなく、水痘の予防接種もしていない場合、水痘の予防接種を考慮しましょう。発疹出現後4～5日間はウイルスを排泄すると言われています。症状消失後も体力が回復するまでは外出を控えましょう。一応の目安として、学校保健法では、「すべての発疹が痂皮化する(かさぶた状になる)まで」を水痘による出席停止期間としています。